

★ご挨拶 ～未来への責任



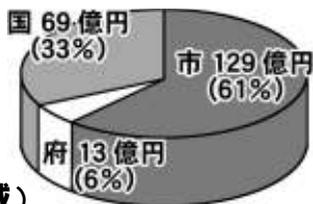
交野市議会議員野口陽輔です。平成24年度のスタートにあたり議会報告、並びに地域活動の近況報告をさせていただきます。
東日本大震災が発生し一年が経過しました。大震災は、私たちに地震への備えだけでなく、現代人が忘れかけている、自然との共生・生きる力・人の絆などを見直す必要性を教えてくださいました。今、市民の皆様は地震に対する不安や来たる人口減少社会に向けての社会保障への不安に直面されていることと思います。このまちで市民の皆様が安心して未来にむけてイキイキと暮らすことのできるまちづくりに取組んでまいります。

★平成24年度 交野市のお金の使い道（予算）

※人 口：78,676人（2012/2/末）

一般会計

211億8百万円
（前年より
2億423万円減）



211億円の内訳は国から入ってくるお金が約69億円、大阪府から約13億円で、残りの約129億円が市民の皆様から預かっている税金などです(自主財源)。2月末現在の人口で市民1人当りに使われる市の支出は、約26万8千円です。

内 訳	説明	構成比	費 用	市民一人当りに使われる費用
民 生 費	子育て支援や保育園の運営、高齢者・障がい者などの福祉サービスなど	40.2%	84億75百万円	10万7千720円
公 債 費	施設や道路といった社会資本整備のためなどに借入れたお金の元利返済	18.3%	38億73百万円	4万9千227円
総 務 費	財産管理、広報、住民登録や戸籍、税務、会計といった市役所の基本的な運営等	9.7%	20億50百万円	2万6千56円
教 育 費	小中学校や文化・スポーツ施設の維持管理、青少年の健全育成、文化財保護等	9.7%	20億37百万円	2万5千897円
衛 生 費	ゴミやし尿の収集、処理、医療、病気の予防等	8.5%	18億3百万円	2万2千917円
土 木 費	道路や公園の整備や維持管理、河川の維持管理、里山保全等	7.7%	16億33百万円	2万756円
消 防 費	消防や救急の体制整備、災害対策等	3.0%	6億22百万円	7千906円
議 会 費	市議会の運営や議員報酬等	1.2%	2億61百万円	3千317円
諸 支 出 金	-	0.9%	1億96百万円	2千491円
農 林 水 産 業 費	農業の支援や水路・ため池の改修等	0.3%	6千2百万円	788円
商 工 費	商店街や中小企業の支援、観光の振興等	0.3%	5千6百万円	712円
予 備 費	-	0.2%	4千 万円	508円
合 計		100%	211億8百万円	26万8千295円

特別会計

150億30百万円
（前年より7億8千6百万円増）

今回注目すべき点は、国民健康保険特別会計が、昨年と比較して約6億円も増額になる点です。医療費の増加は交野市でも例外ではありません。社会保障の改革は、交野市にとっても大変重要な政策といえます。

内 訳	費 用	前年比較
国民健康保険特別会計	80億80百万円	6億33百万円増
下水道事業特別会計	15億63百万円	2億99百万円減
介護保険特別会計	43億7百万円	2億37百万円増
公共用地先行取得事業特別会計	1億96百万円	2千万円増
後期高齢者医療特別会計	8億85百万円	1億35百万円増
合 計	150億30百万円	7億86百万円増

★平成24年度 交野市の主な取り組み

星の里浄水場が完成



今年の秋 完成

「地下水を水源とした自己水」と「府営水との複数水源化」を一層強固にし、安定的、継続的な給水を確認します。自己水の割合を増やし（60%→80%）、市民の皆様には「より安全でおいしい水」をお届けできることとなります。

交野警察署が完成



より安全なまちづくりに向けて、現在の枚方警察署管内を分割し、府下65番目の交野警察署が今年度開設します。

所在地:交野市倉治一丁目40番1号
管 轄:交野市全域・枚方市の東部

給食センター建替を検討



老朽化した給食センターの建替えについて議論が開始されます。財政的に可能なか/食育の観点からこれまでと同じ運営で良いのか(食べ残しなどのない給食運)/民間企業への運用の委託(公設民営)はできないのか/など様々な観点から議論を行っていきます。

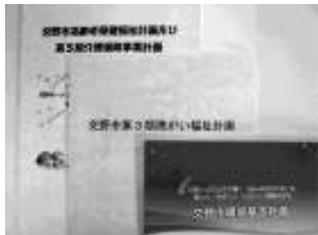
警察学校跡地の活用 星田北エリアのまちづくり 各基本計画がスタート



移転後の広大な敷地を、メガソーラーやエコタウンの誘致など、有効活用していくことはこれからの重要テーマです。



星田北エリア開発について、今まで以上に議論を深め、具体的に動いていく必要があります。



第3期障がい福祉計画(H24~H26)
高齢者福祉計画(H24~H26)
第5期介護保険事業計画(H24~H26)
環境基本計画(H24~H33)

★定例議会（H24.2.29～3.28）の主な一般質問

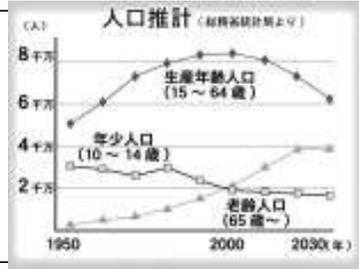
平成24年第1回定例議会にあたり、主な一般質問をまとめました。
市長戦略に関する質問に加え、子育て・教育についての一般質問を行いました。

何を選択し何に集中するのか？

Q：本年度予算の編成で「選択と集中の判断」と言っておられるが、具体的に何に選択と集中をしていくのか。
A：平成24年度は、安心して子育て・教育ができる環境づくりに力を入れたい。

人口減少社会！抜本的な見直しを

Q：人口減少社会にあって少子高齢といった人口構造の変化も起き、税収の減少など様々な負のスパイラルに陥ってしまう。正のスパイラルに変えるため、労働者が安心して働ける環境づくりや高齢者が活躍できる場の拡大を行う必要があるが市の考えはどうか。
A：人口減少社会の影響については、「改革のチャンス」として、これまでの仕組みを検討しなおし、個々の施策点検を行っていくことが必要と考える。



待機児童をなくし、誰もが働ける社会を

Q：市は、平成24年度新規事業で「交野市認可外保育施設利用者補助事業」を開始した。一定の評価はするが、潜在的な待機児童数を考えると、学校施設等の公共施設を活用した保育事業の充実が必要ではないか。
A：現在、国が導入しようとしている「子ども・子育て新システム」において、市町村の役割としての「市町村新システム事業計画」（仮称）を策定することとなっている。その策定にあわせ計画をつくっていく。

交野市認可外保育利用者補助事業
認可保育圏に入所できず待機児童となり、やむを得ず認可外保育を利用されている方を対象に利用料の一部を補助すること。

「釜石の奇跡」を見習い、防災教育の見直しを

Q：東日本大震災で学んだことのひとつが「釜石の奇跡」である。大津波から生き抜いた釜石市の児童・生徒の主体的行動であり、彼らは、日頃より「想定にとらわれるな」「最善をつくせ」「率先避難者たれ」と教育されていた。このことに学び、交野市の学校における防災教育も根本的に見直すべきである。
A：「平成24年度交野市学校教育運営指針」において、「児童・生徒」が自ら命を守り抜くための『主体的に行動する態度』を育成する防災教育の充実を図ること」と明記し、学校長に対し、自分で考え、避難できる力を身につけることを目指すよう指示をした。

《釜石の津波防災教育で伝えてきたこと》
大いなる自然の恵みに畏敬の念を持ち、行政に委ねることなく、自らの命を守ることに主体者たれ。
—「避難三原則」—
★ 想定にとらわれるな ★
—行政の防災はあくまで想定外力を想定したもの、相手は自然、その想定を超える事態も当然ありうる—
—ハザードマップに示されるような浸水想定区域は、あくまで防災施設を建設する際の“想定外力”であって、それ以上の災害が起こる可能性があると思え。
★ 最善を尽くせ ★
大いなる自然の振る舞いの中でできることは、その状況下で最善を尽くすことだけ。「ここまで来れば大丈夫だろう」ではなく、そのときできる最善の対応行動をとれ。
★ 率先避難者たれ ★
—「常態化の偏見」を打ち破る非常事態時、人は避難しないと決めているのではなく、避難するという意思決定ができないだけ—
—いざというときには、まず自分が率先して避難すること、その姿を見て、他の人も避難するようになり、結果的に多くの人を救うことが可能となる。

その他、40周年事業の総括・災害時要援護者支援・環境基本計画・公共施設の維持補修費将来負担・公有地利活用について質問を行いました。

★行政視察報告

2012年2月8日、宮城県仙台市の東日本大震災被災地を視察してきました。（詳細は野口ようすけブログに掲載させていただいております。）



被災地の街並み

人が住んでいたであろう家の基礎部分が残っていました。まさに「何も無い」の一語です。



分別されたがれきの山

これはごく一部ですが、推定発生量は135万トンとされています。



焼却場の様子

仙台市では、がれき等の最終処分まで自らの地域内で完結する方針だそうです。

私たちが東日本大震災のことを忘れてはならない...

★地域活動報告

本年度も、下記の他、たくさんの活動に参加させていただいております。



「竹炭ボランティア」
里山保全や天の川の浄化、また、竹さく液や絵付けなどにも活用。



「今池の清掃活動」
＜幾野連合自治会＞
親地の会や二中野球部の子ども達も手伝ってくれました。後日に植樹も行いました。



「天の川清掃活動」
天の川の環境保身に取組んでいます！



「環境フェスタ」
餅つきを担当。650食完売しました。

「野口ようすけ新春の集い」御礼



2月12日、「野口ようすけ新春の集い」を開催いたしました。ご来賓をはじめ、多くの皆様方にご参加をいただき、心から感謝を申し上げますとともに、頂戴いたしました激励のお言葉を胸に、これからも議会活動、地域活動に邁進してまいります。本当にありがとうございました。

市民相談はもちろんのこと、皆様のご意見や質問をぜひお聞かせください。



★6月議会のお知らせ

6月11日（月）	10：00～	本会議（議案上程）
6月14日（木）	10：00～	常任委員会
6月15日（金）	10：00～	常任委員会（予備日）
6月25日（月）	10：00～	本会議（一般質問）
6月26日（火）	10：00～	本会議（一般質問）
6月27日（水）	10：00～	本会議（一般質問）
6月28日（木）	10：00～	本会議（一般質問予備日）
6月29日（金）	10：00～	本会議（委員長報告・採決）

※上記は予定です。変更になる場合がございます。

お電話・FAX・Eメール・ホームページにてご相談ください。
野口ようすけ後援会
【TEL/FAX】072-397-9615
【Email】ynoguchi_katano@hello.zaq.jp

最新情報、議会報告、活動内容は、

野口ようすけ

検索